

農×地域キャラバン2025

未来を耕す

～多様な風と土をめぐる～

“
つくりて
”
会いに行こう!



豊かな森、田畑、里山の暮らしが息づくこの南丹。
5年後、10年後、そしてその先、
どんな風景にしていきたいですか。
地域の人も、移り住む人も、訪れる人も、
農と地域について一緒に考えてみませんか。

第1回 | 申込み締切り 10/27(月)

11月2日(日)
新たな土地で種をまく

訪問先：南丹市八木町

京十草ビラ (きょうとくさひら)

こはまファミリー農園

大川農園

第2回 | 申込み締切り 11/17(月)

11月24日(月・祝)
ここにある強みを活かす

訪問先：南丹市日吉町

株式会社京八

有限会社日吉ファーム

Yard Reed

第3回 | 申込み締切り 11/21(金)

11月29日(土)
地域とともに農地を守る

訪問先：南丹市園部町

つつみ農園

黒田宮農組合

株式会社 Ryo

参加費 各回1人 3,000円

昼食
込み

地域食材を用いた昼食（お弁当）、資料、
保険等の費用が含まれます。

時間 各回 9時半集合、15時ごろ解散予定

各回の集合場所、訪問先詳細は裏面へ

お申し込み

各回 15名程度

こちらのリンクからお申込みください▶

参加年齢：中学生以上



お問合せ

主催：(特非) つむぎ・農×地域シンポジウム実行委員会

後援：南丹市（申請中）

この事業は「令和7年度京都府地域交響プロジェクト交付金」を活用しています。

(特非) つむぎ・農×地域シンポジウム実行委員会

✉ nantanmiraitagayasu@gmail.com

HP <https://tsumugi-kyoto.net/>

今年度で4回目となる「農×地域

未来を耕す」の取り組みは、

”農”を切り口に、地域住民や

移住を希望している人などが

課題や経験を共有し、多様で

持続可能な地域の在り方を

模索する場です。

これまでシンポジウムや

ワークショップ、映画の

上映会などを行ってきました。

今回は、実践の現場に足を

運び、対話をつむいで

いきたいと思っています。

タイトルの”風と土”は、

多様な視点や情報を外から

運んでくる「風の人」と、

その土地に深く根ざして

守り支えてきた「土の人」の

交流が豊かな地域をはぐくむ、

という考え方にちなんでいます。

つむぎHP



※前回（2025年2月開催）の「農×地域シンポジウム
未来を耕す～根をはりつなぐ道づくり～」のレポートと成果冊子は、
←こちらのリンクから閲覧・ダウンロードいただけます。

第1回／

11月2日(日) 新たな土地で種をまく

南丹市八木町

集合 9:30 神吉区自治振興会館みらい館（住所：南丹市八木町神吉西河原 15）
農×移住でつむぐナリワイと暮らしの実践を訪ねます。

きょうとくさびら

京十草ビラ

須賀智昭さん

2013年就農。自然栽培で米と花を
育て、栽培方法を共有しながら市内へ
の配達販売を実施している。

こはまファミリー農園

小濱達郎さん

音楽活動をしなが、狩猟、電力
自給、お米づくりなど、自給自足
の暮らしを家族と共に実践中。

大川農園

大川倫正さん

2014年就農。ハウス7棟で、でき
るだけ環境に負荷をかけず、安心して
食べられる水菜栽培を手掛けている。



第2回／

11月24日(月・祝) ここにある強みを活かす

南丹市日吉町

集合 9:30 日吉胡麻基幹集落センター（住所：南丹市日吉町胡麻才ノ本 10-1）
地域のニーズや資源を活かした地域循環をうみだす視点を聴いてみましょう。

株式会社京八

香川賢人さん／代表取締役

地元日吉で九条ネギ・野菜・米・加工
品の生産・販売・卸を手掛け、地産地
消や地域の雇用創出に取り組む。

有限会社日吉ファーム

藤堂祐士さん／代表取締役

システムエンジニアから養豚業に転
身。資源の循環を組み込んだ飼料
の活用、たい肥生産などにも取り組
んでいる。

Yard Reed

芦田有吾さん／代表

2023年就農。できるだけ農薬・化
学肥料・マルチなどを使わず、山間
地域の気候を乗り切る野菜を独自
にチョイスして栽培中。



第3回／

11月29日(土) 地域とともに農地を守る

南丹市園部町

集合 9:30 黒田公民館（住所：南丹市園部町黒田西片山）
地域連携と集約化から地域の農地を守る取り組みに学びます。

つつみ農園

堤 博明さん／代表

黒大豆枝豆の栽培を手掛けながら、
近隣地域の若手農家が集まる「京都
丹波もん」の運営にも携わっている。

黒田宮農組合

木村 裕さん／代表

区内で利用権を設定するなど、15ha
の農地で水稻、黒豆、小豆の栽培に
取り組む。

株式会社 Ryo

西田良弘さん／代表取締役

水稻とにんにくを中心に栽培し、ライ
スセンターの運営も手掛けている。



全回共通事項／

持ち物：筆記用具、飲み物

少雨決行です。雨天の場合は雨具をご準備ください。

昼食：地域の食材を使ったお弁当を準備します。

アレルギー等がある方は事前にお知らせください。

駐車場：各集合場所に無料の駐車場があります。

最寄り駅（JR 八木駅または JR 園部駅）からの送迎が必要
な場合はご相談ください。

各回集合後、徒歩または乗り合わせにて各訪問先に移動します。

お申込みはこちら

